

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習活動及び教育活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 3年 5月 24日

学校名 福井市豊小学校

校長氏名 福本 ゆうみ

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 豊地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 学校での節電、節水に努めます。
- ③ 地域と連携して、資源回収等、リサイクル活動に努めます。

2 取組内容

- ① 総合的な学習の時間における環境学習
 - ・ 5学年を中心に、豊地区を流れる狐川の環境を調査し、現状や問題を考えることを通して、豊地区の環境をより良くしていく方法を考え、町作りのアイデアや心構えがもてるようになっていきます。またそれらを下学年に伝えたり、地域へ発信したりしていきます。
- ② 節電・節水の取り組み
 - ・ SDGs 委員会の活動として、校舎内の見回りを行い、節電、節水がなされているかを調べ、結果発表をし、校内に節電、節水を呼びかけていきます。また、エコキャップ活動としてペットボトルキャップの回収を校内で呼びかけます。
- ③ 地域と連携しての分別回収、清掃活動
 - ・ 新聞・雑誌等古紙の回収を豊教育振興会や地域と連携して実施します。また夏季休業中には学校清掃を実施します。学校の取組としては、SDGs 委員会が中心になり、毎月1回アルミ缶回収を行います。

★ ESDポイント (取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ③の資源回収、毎月1回のアルミ缶回収、学校清掃活動を通じて、自分の仕事に責任をもち、地域の様々な人との関わりや協力を大切にしながら、主体的に取り組もうとする態度を養う
(⑥つながりを尊重する態度・⑦進んで参加する態度)。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">豊小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <p>①豊地区の環境、地球環境について学習します。 ②学校での節電、節水に努めます。 ③地域と連携して、資源回収等、リサイクル活動に努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>④ 総合的な学習の時間における環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5学年が、豊地区を流れる狐川の環境を調査し、現状や問題を考えることを通して、豊地区の環境をより良くしていく方法を考えた。また、自分たちの案をまとめてパンフレットにした。今後は地域の人たちに発信していく予定である。 <p>② 節電・節水の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 委員会の活動として、校舎内の見回りを行い、節電、節水がなされているかを調べた。また、エコキャップ活動としてペットボトルキャップの回収を校内で呼びかけた。今後、回収したペットボトルキャップは回収事業団体に提供し、世界の子どもたちのために「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付をする予定である。 <p>③ 地域と連携しての分別回収、清掃活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌等古紙の回収を豊教育振興会（PTA）や地域と連携して実施した。また9月中には学校清掃を実施。学校の取組としては、SDGs 委員会が中心になり、毎月1回アルミ缶回収を行った。 	   
<p>★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）</p> <p>①の環境学習を通じて、自分たちの身近な環境や自然に関心を持ち、未来を見据えながら自分たちが今後どのように行動しなければいけないのかを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う（⑥つながりを尊重する態度・⑦進んで参加する態度）。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">3 見直し</p>	<p>【具体的効果】</p> <p>①総合的な学習の時間を使った環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5学年の狐川の環境調査では、予想より多くの種類の生き物に会えたことで更に親しみをもった。一方で、自分たちが思った以上に川が汚れていて、ごみがたくさんあるという事実を知り、大切な川をもっときれいにしていかなければいけないという思いを強くするなど、環境保全の意識が高まった。そして、少しでも川

をきれいにするための方法を考え、それらの案をパンフレットという形でまとめた。今後、できた上がったパンフレットを使って、地域の人たちに自分たちの考えを発信することで、この活動が社会の一員として地域貢献につながっていることを実感できる場になることを期待している。

②委員会の取組

- ・本校では、地域行事に参加するたびに一つペットボトルキャップを回収箱に入れる取組を行っている。委員会で行ったペットボトルキャップの回収を学校での取組と関連付けながら行うことで、子どもたちも楽しくエコキャップ活動に参加することができた。また、7月にはSDGs委員会が給食の残食チェックを行い、残食の少ないクラスを校内で放送する活動を行うなど、節電・節水だけでなくエコに関わる様々な活動に広げることで学校全体でSDGsを意識することができた。

③地域と連携しての分別回収、清掃活動

- ・SDGs委員会の毎月1回アルミ缶回収は、児童玄関を密にしない配慮のためもあり、例年のような登校時の回収はできなかった。そこで、SDGs委員会では各教室の古紙を回収し、資源として役立てるようと、回収ボックスを作成して各学級に配付し、活用を促した。夏季休業中の学校清掃も、例年は児童も参加していたが、今回は保護者のみで行うことになり、ISOの活動としては十分な成果を上げられなかった。

【改善点】

今年度から新たな委員会としてSDGs委員会を作り、SDGs委員会を中心に環境保全に関わる活動を行ったこともあり学校全体としてもSDGsを意識する機会が多かったが、今年度は昨年同様に子どもたちが地域の人たちと一緒に活動することが少なく、環境を守る意義や環境を守ることの重要性を今ひとつ実感することができなかった。

今後はSDGs委員会を中心に、環境に関する取組を積極的に行うとともに、学校全体として環境を守る意義や、その重要性について考えさせるような授業作りや活動をしていきたい。